

学生主体のゼミナール OBを招き講演会開催 魚田研究室 若杉真理(経営学部経営学科3年)



講師の岩田氏(前列左から4番目)と魚田教授(同右)を囲んで(岩田氏の左が若杉さん)

魚田研究室(指導・魚田勝臣経営学部長)では、ベンチャービジネスで活躍中のOBを招き、社会人講演会を12月11日、生田キャンパスで開催した。

企画、運営などすべてを私たち3年次生が担当し、講師には昨年、法学部を卒業、(有)モトリミテッドカンパニー代表取締役の岩田彰徳氏を招いた。同氏は2年次在学中に同社を立ち上げ、インターネットを利用した結婚情報ネットワークサービスや健康食品の販売などの事業を展開中だ。

講演会は5部構成。第1部「私のベンチャーについて」では、産業規模が比較的小さく、競争が少ないことに着目し「結婚関連の企業」を立ち上げるまでのきっかけや苦労話を。第2部「現在の仕事について」では、日本人の結婚率が著しく低下した昨今、このような状況では500年後に日本人はいなくなってしまう。なんとか解決したいと考えたこと。第3部「ベンチャーの創り方」では、目標の設定には「必要性」「先見性」「公示性」の3点に注目し、実際に必要なのは「やる気」「人間力」「資金」の3つであること。第4部「学生時代に学んだこと」では、多くのアルバイトを経験し、常に問題意識を持って取り組んだ在学中の話。第5部「学生へのメッセージ」では、社会人として必要な「人間力」を身につけ、就職活動は自らのハードルを作らずに責任と実行力を持って行動すべきだなどと語った。

あらかじめレジュメが準備されていたため、集中して講演を聴くことが出来た。学生に質問を投げかけ意見を聞くという、常に聞き手を意識したのが印象的。親近感ある講演会だった。講演後のアンケート調査でも、大半は「たいへん満足」と回答していた。

このような有意義な講演会を主催出来て、たいへんうれしい。反省点は、魚田研究室以外の参加者が少なかったこと。より広報に重点を置き、多くの学生が参加出来るような講演会を開催したいと考えている。

[2月8日/ニュース専修3面]

## 第11回「学生部長賞」表彰式 全学応援団と太田君（陸上部文3）ほか



「学生部長賞」を受ける全学応援団チアリーディング部の中野美穂さん

顕著な活動のあったサークル団体などを表彰する「学生部長賞」の第11回表彰式が1月24日、生田キャンパスで行われ、全学応援団と陸上競技部の太田宏嗣くん(文3)が受賞した。全学応援団は特にチアリーディング部の活躍が評価された。太田くんは昨年暮れ、強盗傷害容疑者の逮捕に協力、勇気ある行為が称えられた。

さらにファンドマネージャー専大グランプリに優勝した池内侯太くん(ネット情報2)、同投資経過分析レポート優秀賞の西村直也くん(経営1)と専大ベンチャービジネスコンテストの入賞者8組(氏名は02年11月号に既報)もあわせて表彰された。各受賞者には池本正純学生部長から表彰状と賞品が贈られた。



今年の箱根駅伝で勢ぞろいしたチアのメンバー。中野美穂・前主将(商3)は「他の競技への応援参加も検討したい。チアの大会では更に上位を目指します」と意欲的に話している。

### ☆華やか演技で応援盛り上げ☆

学生部長賞の全学応援団は、リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部の3部で構成され、箱根駅伝や野球、アメフトなどの試合で応援活動に取り組む。

特にチアの華やかな演技はなくてはならない存在。コーチ不在の中で練習に取り組んでいる。昨年はジャパンカップ2002チアリーディング日本選手権大会大学部門で入賞を果たした。

〔2月8日/ニュース専修3面〕